

## 令和5年度第2回中野市学校給食センター運営委員会会議録 要旨

開催日時 令和6年3月21日(木) 午後3時30分

開催場所 中野市南部学校給食センター 2階会議室

出席者

(委員)

小林みどり委員、佐藤智恵子委員、塩川麻央委員、小山健史委員、徳竹真弓委員、  
嶋田茜委員、田中五月委員、古田忍委員

(事務局 市教育委員会)

柴本清天教育次長、竹内和彦所長、田澤悦子栄養教諭、宮澤比呂子栄養教諭、  
松澤澄枝栄養職員、平沢由美栄養職員、田中幸子副主幹、望月智栄養士、

欠席者

(委員)

工藤優子委員、村島康秋委員、神田久仁玲委員、山口ゆかり委員

会議内容

1 開 会 竹内所長

資格審査報告 委員12名中、出席者9名

(運営委員会条例第5条第2項の規定により、出席委員が過半数を上回っているため、運営委員会が成立)

2 あいさつ 柴本教育次長

3 会議事項

(1)令和6年度事業概要について、竹内所長が資料に基づいて説明を行った。

【 質疑・ご意見 】

委 員：給食の納入業者は、どうやって決まっているか。個人商店がやめた場合は、食材の調達はできるか。

事務局：市の入札参加資格者として登録している業者へお願いしている。個人商店がやめた場合でも、組合として食材を調達してもらっているので、影響はない。

委員：管理事業費の予算が前年度と比べて減っているのはなぜか。

事務局：主に電気料の予算が削減となっている。エネルギーサービスプロバイダー（ESP）業務を委託しており、電気使用量を試算し電気料を見積もってもらっている。その試算により電気料の見積額が減ったためである。

会長：給食費は上がったが、保護者負担額についてはご配慮いただきありがとうございます。ありがとうございました。

委員：6年生が給食費を市に負担してもらっていることを知らなかった。低学年には難しい話だが、高学年にはもっと授業などで話題にしていきたい。

事務局：今年度、市長が日野小学校へ行ったときに、給食費の半額を市が負担している話を児童に話した。もっと大勢の人に知ってもらえるようPRしていきたい。

(2)令和6年度事業計画(案)について、宮澤栄養教諭が資料に基づいて説明を行った。

#### 【 質疑・ご意見 】

委員：米に麦が5%入っているのはなぜか。

事務局：ビタミンBを補うため。

委員：保育園では国産に限らず食材を使用していると聞いたが、学校給食は国産を使用している。食材の選び方の違いはどうか。

事務局：厚生労働省と文部科学省で若干の違いもあると思う。学校給食では、長野県教育委員会から国産や地元食材を中心に扱うようにと、地産地消ということで話があり、毎年2回、6月と11月に地場産物や県内産のものを使用しているか県教委が調べている。そのようなこともあり、できるだけ外国産の物を使用しないで、県内産、国産のものをと考えている。

会長：それ以外に何か、感想でもいいのでありますか。

委員：さきほど、子どもたちが給食費について、市が半分負担していることを知らないという話があったが、保護者も知らない人がいると思う。給食のこだわりを親が知ることで、家庭での食事を見直せるのではないか。

自分の子どもは、自分のお小遣いで市販のおやつを買うが、その原材料をみると体に良くなさそうな原材料のものも沢山ある。でも、子どもはパッケージで選んだりしている。給食では、すごくいい物を食べさせてもらっているのに、家に帰っておやつを食べて、食べたおやつがよくなって、夕飯があまり食べられないということが、うちの場合は気になっているこ

となんです、せっかくの給食が無駄になっているのではないかと保護者として感じています。中野市として食の大切さを給食から保護者に向けて、教えていただけるような機会があったらいいなと思った。

事務局：保護者への発信は、全部の学校ではないが試食会有一些ある。

委員：私も1度試食会に参加したことがあるが、参加する保護者が少ないと感じた。お仕事もされているし、なかなか参加は難しいのかと思うが、保護者がこういうことを知らないのはもったいないなと感じた。

会長：中学生あたりについては、どうでしょうか。

事務局：今年、高社中学校で主食のことについて生徒と授業をさせていただいた。その時に、市の健康づくり課の方に入ってもらい、市の健康づくり課の方からの伝え方、また、子どもたちが話を聞いた内容を今度は市の方へ返すということを少しずつやっているといいねという話の流れで今ちょっとずつつながっている。それを、健康づくり課の人は地域につなぐ、また食改（食生活改善推進協議会）も一緒になって話しをしてくれるように流れを作っていきたい。市として、学校の子どものための課題を家庭や地域に返していきけるような流れを作っていくこともできるのではないかと考えている。

委員：今、食改でという話が出たが、なかなか子どもに直接携わるときがなく、前はクラブ活動などであったが、今は、公民館の料理のところで子どもたちに5つの力の話をしたり、テキストを配る程度のことで、大きな活動ができていない。食改そのものも高齢化していて、若いお母さんと接することの数が少ない。一応、食改の学習会の中で、子どもたちのごはんの残食が多いという話を聞いて、ごはんを食べることも大事だとどこかで伝えていかないといけないかなと思っている。

委員：中学校の保健室に勤務しているが、学校のカリキュラムでは小学校から中学校の家庭科で食育に関する内容が教科書の中に入っていて、授業でやっている中で、給食センターや市の保健師と一緒にプラスアルファでやっていくように学校ごとに工夫を始めているところ。今、お話を聞いた中で、保護者の方へというのは例えば学校保健委員会の栄養士さんに来ていただいて、実態なども、結局参加してもらわなければ聞いてもらえないので、その発信の仕方は工夫していく必要がある。

会長：ご意見ありがとうございました。令和6年度の事業計画について、進めていただくということでよろしいでしょうか。

委員：異議なし

4 閉 会 午後4時10分